

日本三大銅山の一つ別子銅山から 始まった、新居浜・西条の化学工業



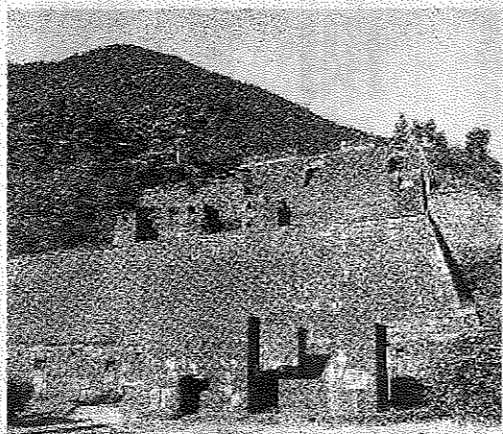
愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」

日本の近代化に大きく貢献した別子銅山

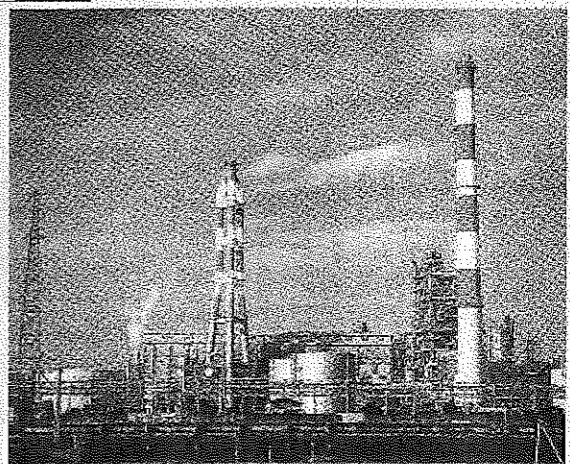
日本三大銅山の一つに数えられていた別子銅山。1691年(元禄4年)の開坑から1973年(昭和48年)の閉山に至るまでの283年間、先人たちは英知を集め、また諸外国から積極的に先進技術を学び近代化を図った。1893年(明治26年)には日本初の鉱山専用山岳鉄道である別子鉱山鉄道が開通。さらに洋式の製錬所を建設し、ダイナマイト、蒸気巻き揚げ機、削岩機などを次々と導入し生産量は大幅に増加。新居浜市は工業都市として発展し、また日本の近代化にも大いに貢献した。

さらにも一歩先を
目指した
技術集団へ

別子銅山のこのような



東洋のマチュピチュと評される別子銅山東平地区



西条市の工業地帯

歩みもあり、新居浜市と隣の西条市では、現在化学工業や金属製造、鉄鋼業などが集積。特に裾野が広い化学工業においては多様な企業が活躍している。たとえば、プラスチックのペレット製造装置をつくる技術工機、不織布の専門メーカーであるシワワ、樹脂ライフが開発した滅菌装置は先端医療や無菌製薬現場での活用が期待されている。銅サイバーの自動化時間測定装置は、特殊な混ぜり方で樹脂が均一に混ざり、データの再現性に優れている。一方で、化学プラントの領域においては、熱交換器を中心にプラント設備を製作する銅三好鉄工所や、高度な溶接技術を行う銅大石工作所などのエ

行政企業・県民が
一体となった
支援事業への
取り組み

このような産業振興の背景には、行政・企業・県民が一体となり、ものが挙げられる。昭和63年には住友系三組合が「新居浜機械産業協同組合」を設立。長年蓄積された技術力を持つものづくり企業集団として多様な事業を展開している。また、新居浜市にある「公益財団法人えひめ県産産業創造センター」はソフト面を中心に支援を行い、足腰の強い産業形成に貢献している。

オール愛媛の体制で スゴ技企業を強力バックアップ

西日本最高峰の石鎚市、造船・船用、タオの商談会など200回山が東西に連なり、産業界の今治市など、を超えるマッチングの場やかな瀬戸内海と瀬戸内各地で様々な産業を提供し、成約実績も流れた愛媛県、江戸時代、姫路ではキラリと光るには確が八つに分かれ、技術をもた、日本国内にいたこともあり、地はもろろ海外にも通域ごとに異なる風土が用する企業を「スゴ技」残っています。このよう企業として「データベータ」も背景もあり、住友グループ、地元経済団体、金融製造や化学が盛ん、連携して販路拡大も新居浜市や先州産業につなげています。が築積する西条市、紙、これまで4年間のパルプ産業の四国中央、取り組みで海外で



愛媛県知事 中村 時広

熱硬化樹脂のゲル化 時間を自動取得

株式会社サイバー「電気機械」

手動測定感覚に近い2キシ樹脂など各種熱硬化樹脂の攪拌方法を採用、樹脂の硬化時間測定し、硬化状態をトルクとして検出する自動硬化時間測定装置「まどか」。◎品質管理業務の効率化
▼〒792-0041 愛媛県新居浜市中村松木1-8-21
TEL/0897-4066003
FAX/0897-4066041
http://www.aoto.co.jp/cyber
▼事業内容/ソフトウェアの開発、電子回路の設計・製作
◎主な技術の使用シーン/「フェノール樹脂」エポ

